令和元年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	8	事業No.	33		
事務事業名	交通体系整備事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	リニア推進課	開始	H10	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	12	リニア時代を支える都市基盤を整備する
	分野別計画			
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	市民
	意図	市民の地域公共交通利用

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	
	・市民バスの利用者は高校生の通学と一般の通勤が中心で、平成27年度をピークに減少傾向にあります。 ・乗合タクシーの利用状況は減少傾向であり、新たな利用者の獲得が必要です。 ・免許返納者が増加しています。 ・公共交通に係る国補助金の減少に伴い、市の支出が増えており持続可能な体系構築が課題となっています。 ・JR飯田線の活性化に向け、期成同盟会と歩調を併せて進めていきます。

1年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
交通弱者等の移動手段を確保するため、市民バス９路線、乗合タクシー14路線の運行支援を行います。 地域公共交通改善市民会議や南信州地域交通問題協議会と連携して、運行に関する改善や利用促進のPR活動を行います。 山本地域づくり委員会から要望のあった乗合タクシー山本西部山麓線の実証運行を実施します。 利用促進の取組としてマタニティ割引の導入、乗り方教室を行い、新たな利用者確保に取組みます。	一般乗合旅客自動車運送事業補助金	128,167
	地域公共交通改善市民会議負担金	4,310
	南信州広域連合負担金（南信州地域交通問題協議会）	1,581
	地域公共交通改善市民会議委員報酬ほか	237
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 実績	平成30年度 計画	令和元年度 計画	令和2年度
運行支援する市民バス路線数	路線	9	9	9	
運行支援する乗合タクシー路線数	路線	14	13	14	
地域公共交通改善市民会議開催数	回	2	2	2	
実証運行路線数	路線	364,715		1	

1年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	134,295
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	37,900
その他	6,181
一般財源	90,214

特定財源内訳及び補足事項

（地）過疎対策事業債（100%）
（そ）地域振興基金利子

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	15	1	134,295 0	市民バス等運行業務費
2								
3								
4								
5								
6								
7								